

記入日：令和2年 8月 24日

所在地（都道府県/市町村）：群馬県高崎市箕郷町矢原 1059-55		
法人名：NPO 法人ステップ One ミサト		
施設・事業所名：わくわくミサト		担当者名：稲川 やよい
事業種類：就労継続支援 B 型		
主たる障害：精神・知的障害		令和2年3月末現在 定員： 20 人
TEL:027-371-0665	FAX:027-371-0665	E-mail: info@stepone-m.org

① 令和元年度までの主な取り組み内容

<p>農業（野菜作り）・販売 ボールペン組み立て作業 くじ折り作業 乾物の小分け包装作業・販売</p>

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

<p>利用者精神的不安によって長期欠席。 ボールペンの流通規制による受注減少。 遊興施設のくじ折り作業の受注減少。 送迎車の人数規制。 作業台・作業場所の人数規制。 体調管理による利用者数減少。 衛生用品の高騰化による支出増。 乾物の販売先減。 人手不足の為に農作物の廃棄。農作物の収穫減、販売売上減。</p>

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

<p>事例タイトル：感染予防対策</p> <p>取り組み内容： 送迎時、車外で検温 37.0℃以上あった場合、通所の差し控え。 送迎車の人数制限・フェイスシート、マスク着用・手のアルコール消毒の徹底。 一日2回のドアノブ、トイレなど施設内アルコール消毒。 ソーシャルディスタンスを考慮した作業台の配置。 飛沫感染を防ぐ為のパーテーションの設置。 利用者の在宅ワークの試み。</p>

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

コロナ緊急事態宣言発令が出た為、施設内で検討の結果、利用者の在宅ワークからスタートした。在宅ワーク中に利用者受け入れの為の感染予防対策を始めた。

在宅ワークの際、極力面会を避ける為にメール箱を用意。物品受け渡しはここで行う。面会の際は、マスク、手の消毒、利用者さんと距離の確保を徹底、施設内では利用者さんの動線を考え消毒液を設置した。

パーテンションの設置では、コロナが落ち着いてきた時、その後も使える物で作成する（農業用の支柱・ハンガーラックなどを使用）。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

在宅ワークでは、利用者本人・HP・GP・各家庭の安心感が得られた。気持ちの安定を図ると共に感染予防となった。施設での取り組みでは、職員、利用者、来客の感染予防への関心、実行への遂行となった。検温などの体調管理では、自分の平熱等、職員、家族、各関係者が再確認をできた。

車内の感染対策では3密を避ける為の対策としてパーテンションの設置をしたが視界を妨げる為危険と判断し、フェースシールドに移行。窓は開けて送迎をする。ソーシャルディスタントの確保は出来ない為、飛沫感染予防対策を行った、利用者と職員の安心・安全に繋がった。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

体温計・消毒用ウェットティッシュ・使い捨てガウン・消毒液・サンバイザー・フェイスシールド・マスク・農業用支柱・ハンガーラック・ハウス用透明ビニール・DVDプレーヤー・使い捨て手袋・ハンドソープ

⑦ 今後の課題・展望

気を緩めず持続をしていく事、利用者・各関係者・職員により良い方法で、感染予防をしながら快適に過ごせるように、改良をしていく必要がある。

